

2019 年度精密工学会秋季大会関連事業 「新技術講演会—産学・産産連携への集い」実施報告

精密工学会では2013年度より産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。これは企業の皆さまに精密工学分野の研究機関との共同研究や関連企業とビジネス交流の場、技術サロンを提供させていただくもので、本年度の秋季大会初日の9月4日に静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館会議室で開催しました。

第1部では、精密工学会「賛助会員の会」小坂哲也 会長（ファナック(株)）のご挨拶に続き、ニューテクノロジーフォーラム「宇宙と精密工学」を開催しました。第2部では、本会ものづくり賞を受賞された9社（受賞は10社、1社欠席）より、その高い技術を披露していただきました。講演会には60名、技術交流会には40名もの多くの皆さまにご参加いただきました。

1. 第1部 ニューテクノロジーフォーラム 「宇宙と精密工学」

近年、宇宙を身近に感じるニュースとして、日本版GPSの準天頂衛星「みちびき」、国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」、小惑星探査機「はやぶさ2」などが

挙げられます。宇宙開発競争中のアポロ計画で研究された超精密加工の目標精度は1μinch（25.4nm）という、当時の機械加工からすれば挑戦的な値であり、さまざまな科学技術分野での優位性を支えた基盤技術として、超精密加工、計測・制御技術をはじめとする精密工学が果たしてきた重要な役割について、本会・遠藤勝義 副会長（大阪大学）よりご説明いただきました。

続いて(株)IHIエアロスペース・長尾 徹氏による「ロケットエンジン技術と将来動向」、三菱電機(株)・小山浩氏による「宇宙機の誘導制御技術とその未来」、JAXA・曾根理嗣氏による「宇宙探査を支える基盤技術—電源系運用からの教訓—」の3件のご講演をしていただきました。世の中に普及しているリチウム電池の充電方法によって寿命が大きく異なることなど新鮮な驚きに満ちたご講演でした。

2. 第2部 先端企業・技術紹介セッション

産学・産産連携の強化と賛助会員相互の情報交換の場として交流を深める目的で、日本のものづくりを支えている



「賛助会員の会」小坂会長挨拶



遠藤副会長の講演



長尾氏の講演



小山氏の講演



曾根氏の講演



技術交流会の様子

中小・中堅企業を対象とした「精密工学会ものづくり賞」を今回受賞された企業より受賞業績をご紹介します。

【ものづくり賞 最優秀賞】 (株)名光精機 織田善教氏
【ものづくり賞 優秀賞】

ソフトキューブ(株) 中川 晋氏

【ものづくり賞 優秀賞】 (株)トヤマ 園山純生氏

【ものづくり賞 優秀賞】

(株)マグネスケール 丸山重明氏

【ものづくり賞】 (株)岡本工作機械製作所 吉田 裕氏

【ものづくり賞】 (株)唐津プレジジョン 三好宏明氏

【ものづくり賞】 (株)北川鉄工所 西宮民和氏

【ものづくり賞】 (株)トクピ製作所 森合主税氏

【ものづくり賞】 安田工業(株) 坪井 優氏

【ものづくり賞】 クレトイシ(株) (都合により欠席)

それに先立ち、「賛助会員の会」運営委員会・遠藤勝義委員長（精密工学会副会長，大阪大学）より「精密工学会ものづくり賞」について紹介していただきました。受賞企業によるご講演後に質疑応答と参加者からのご意見を頂き、盛会のうちに講演会を終了いたしました。

3. 技術交流会

講演会終了後、佐鳴会館ホールに移動し、技術交流会（懇親会）を開催しました。参加者は40名でした。「賛助会員の会」小坂会長よりご挨拶いただき、精密工学会・遠藤副会長の乾杯の発声の後、技術・情報交流の場として、約1時間半にわたり多くの参加者の歓談が尽きない交流会となりました。中締めのご挨拶は精密工学会・松村 隆 総務委員長に行っていただき、盛会のうちに終了することができました。